

上美生地域 ⇄ 芽室町市街地の新しい交通手段

めむろ 
コミ☆タク
はじまります！

芽室町MaaS事業
「めむろコミ☆タク」について

芽室町役場政策推進課
課長 石田 哲



事例紹介の流れ

- 芽室町の公共交通の取組・課題
- めむろコミ☆タク事業について
- 事業の課題・今後の展望



芽室町の概要



芽室町（めむろちょう）は、北海道河西郡にある町。町名は、アイヌ語の「メム・オロ」（泉から流れている川）に由来している。

面積	513.76km ²
町民数	18,181人
世帯数	7,983世帯

令和3年12月31日現在。

内訳	町民数	世帯数
市街地	14,359人	6,759世帯
農村部	3,822人	1,224世帯

芽室町における公共交通の取組

【市街地】コミュニティバス

平成23年11月～運行開始

運賃

100円（小中学生50円、小学生未満無料）

運行路線

芽室町市街地を循環（停留所数約70か所）

運行時間

- ・所要時間1時間30分
- ・2時間おきに運行



【農村部】高齢者へのタクシー助成

令和2年5月～開始

要件

- ・農村部に住民票を有する方
- ・75歳以上、または65歳～74歳で運転免許証返納者・運転免許証を持っていない方

助成額

- ・タクシー片道運賃半額相当のチケットを配布
- ・1か月あたり4枚

※その他、スクールバスへの混乗可能

公共交通の課題

市街地の課題

- ・バス1台での運行のため、逆回りがない
- ・居住場所によっては、バス停までが遠い。
- ・バス車両の経年劣化経費圧迫

農村部みたいに
タクシー助成してほしい...

農村部の課題

タクシー助成

- ・高齢者に限られている。
- ・利用回数に制限がある。
- ・助成額は半額のため、遠距離居住者の負担が大きい。
- ・タクシードライバー不足

市街地みたいに
コミバス走らせてほしい...

定額制（サブスク型）の運行

- ・気軽にタクシーを利用してもらいたい。
- ・家族・利用者にとっても安心な運賃体系。

自家用有償運送とのコラボ

- ・タクシードライバーだけでは限界がある。
- ・商業者などの空き時間の活用。

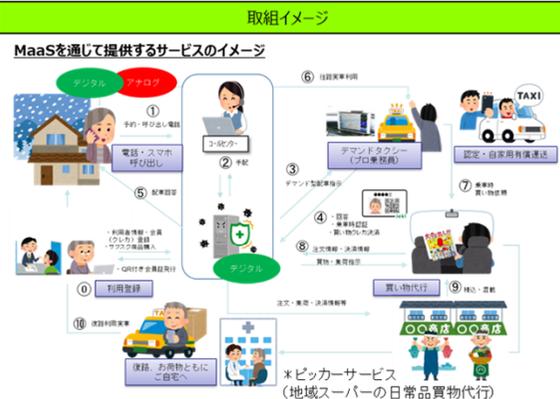
車内での商品販売、商店街活性化

- ・タクシー乗車の目的化
- ・商業者などがドライバー業務を担う動機づけ

事業概要

国土交通省総政局 61

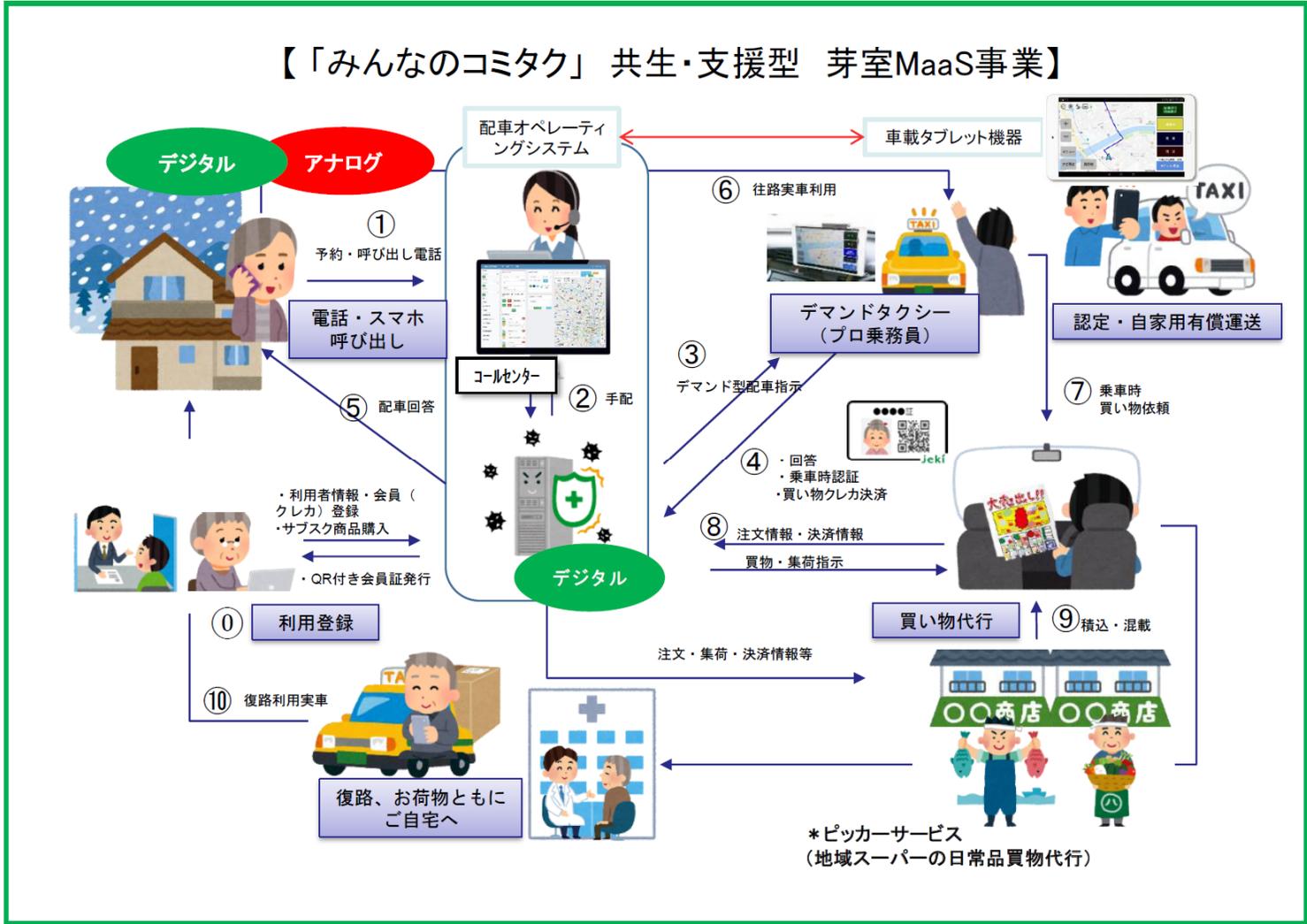
(事業の概要を記載)
 高齢化が進む農業地域居住者の市街地への移動と買物を支援する為、新たなサブスクリプション型乗合デマンドタクシーを導入するとともに、商業従事者との連携を図る。

協議会の 構成員	【幹事】芽室町、NPO法人上美生、(株)シェアール東日本企画、有限会社こほりハイヤー、芽室町商工会、(株)電脳交通、芽室町農業協同組合、芽室消費者協会、芽室町市街地町内会連合会、芽室町民生委員児童委員協議会、育児ネットめむろ、国土交通省北海道運輸支局、十勝総合振興局	取組イメージ MaaSを通じて提供するサービスのイメージ  評価指標 ● 利用者の属性・頻度などの集計・分析 ● 設定料金の適正度の調査 ● 乗降場所ロケーションによる集計・分析 ● 買物支援策需要と生活必要器材の検証 ● 地域外住民の利用需要の検証 ● 外出頻度の向上に向けた施策の検討資料の蓄積 今後の方向性 ● 今事業では対象となるエリアを限定したうえで実施し、今後対応エリアの拡大に向け課題の可視化を図る。 ● タクシー運転手の担い手不足は深刻な将来課題であり、タクシー事業者自らが陣頭指揮を執り、自家所有乗客運送の町内での実現化を目指す取組に繋げる。 ● 協力する商業従事者ネットワークを構築、必要な機能、サービスを模索し、協働による域内消費の拡大ムーブメント化を目指す。										
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 農村地区の過疎、高齢化 ● 域内学生（高校生）の通学 ● 公共交通（路線バス、鉄道）の不足 ● タクシー乗務員の成り手、担い手不足 ● 公共交通の不足による買物難民化 											
事業 概要	<table border="1"> <tr> <td>サービス 開始時期</td> <td>2022年1月</td> </tr> <tr> <td>エリア</td> <td>芽室町上美生地区</td> </tr> <tr> <td>MaaS システム</td> <td>WEBサービスと電話によるデマンド予約、買い物支援サービス注文機能、及び、タクシー車内での買物発注機能を独自に開発、提供</td> </tr> <tr> <td>交通 サービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 乗合型オンデマンド交通の運行 ● 上記予約・決済機能の提供（高齢者向けに電話によるオペレーションセンターを構築） ● サブスクリプション型の運営形態でのサービス提供 </td> </tr> <tr> <td>交通以外 のサービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● ドライバーと商業施設との連携による、買い物代行と復路車両へ荷物の混載による買物支援サービスの提供 ● 米ホールフーズ型新商品購入サービス（ピッカー）をアレンジした従来にないデリバリーシステム・サービスの提供 ● 交通及び買物を便利にするキャッシュレスサービスの提供 ● 病院等特定目的地における予約代行システムの開発と提供 </td> </tr> </table>		サービス 開始時期	2022年1月	エリア	芽室町上美生地区	MaaS システム	WEBサービスと電話によるデマンド予約、買い物支援サービス注文機能、及び、タクシー車内での買物発注機能を独自に開発、提供	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗合型オンデマンド交通の運行 ● 上記予約・決済機能の提供（高齢者向けに電話によるオペレーションセンターを構築） ● サブスクリプション型の運営形態でのサービス提供 	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライバーと商業施設との連携による、買い物代行と復路車両へ荷物の混載による買物支援サービスの提供 ● 米ホールフーズ型新商品購入サービス（ピッカー）をアレンジした従来にないデリバリーシステム・サービスの提供 ● 交通及び買物を便利にするキャッシュレスサービスの提供 ● 病院等特定目的地における予約代行システムの開発と提供
サービス 開始時期	2022年1月											
エリア	芽室町上美生地区											
MaaS システム	WEBサービスと電話によるデマンド予約、買い物支援サービス注文機能、及び、タクシー車内での買物発注機能を独自に開発、提供											
交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗合型オンデマンド交通の運行 ● 上記予約・決済機能の提供（高齢者向けに電話によるオペレーションセンターを構築） ● サブスクリプション型の運営形態でのサービス提供 											
交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライバーと商業施設との連携による、買い物代行と復路車両へ荷物の混載による買物支援サービスの提供 ● 米ホールフーズ型新商品購入サービス（ピッカー）をアレンジした従来にないデリバリーシステム・サービスの提供 ● 交通及び買物を便利にするキャッシュレスサービスの提供 ● 病院等特定目的地における予約代行システムの開発と提供 											
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化、過疎化が進む農村地区住民の移動手段の確保 ● 公共交通空白地における公共交通サービスの実現に向けた需要及びニーズ調査の実施 ● 商業従事者を始めとした、地域住民による協働の交通サービス化（「権利能力なき社団」による自家所有有償旅客運送）を目指す為の検証 											

特徴

- ✓ 過疎地でのMaaS事業
- ✓ 民間タクシー事業者と
自家所有有償運送との共同運行
- ✓ サブスクリプション型
- ✓ 買物代行サービス

【「みんなのコミタク」 共生・支援型 芽室MaaS事業】



実証事業概要

実証期間

2022年1月11日～2月28日

実証地区

芽室町内上美生地区

(地区人口500人程度)

実証事業

予約制乗合タクシーの定期便。

1日6便（3往復）運行。

往路はNPO上美生の自家用有償運送、

復路は民間タクシー事業者が担当。

めむろコミ★タク 

めむろコミ★タク案内サイト

<https://www.comitaku.jp/memuro>



上美生地域 ⇄ 芽室町市街地を 片道1,000円・一月15,000円で移動！

令和4年1月11日（火）～2月28日（月）

期間中毎日運行 要予約

1. めむろコミ★タクとは

コミュニティタクシーの略称です。予約型乗合タクシーで、上美生地域と芽室町市街地を結ぶ定期便を毎日運行します。

事前登録が必要ですが、予約をすればどなたでもご利用することができます。

事業の様子

運行状況

会員登録数／運行回数／乗車人数

その他

- ・ NPOの運行する自家用有償運送も利用が増加している。
- ・ 通院や買物以外に、市街地でのランチ等で利用される方も。
- ・ 帰り便までの待ち時間に、市街地を歩く機会ができた。

めむろコミ★タク 



事業における 現段階の課題

- ◆ **高齢者がIT・キャッシュレスに慣れていない**
 - ・ WEBからの乗車予約
 - ・ 車内での買物代行発注
 - ・ クレジットカード決済
- ◆ **定着まで時間がかかる**
- ◆ **ドライバーの確保（タクシー会社・有償運送）**
- ◆ **定額制（サブスク）の料金設定**
 - ・ サブスク文化のない高齢者にどう浸透させるか
- ◆ **町としての費用負担**
 - ・ システム改修費、システムの維持費用
 - ・ 市街地交通施策との費用負担のバランス

今後の展望

課題の洗い出し

- ・実証結果の検証
- ・運行内容の見直し・改善

農繁期の実証運行

- ・コミバスは、冬季の方が利用が増える
- ・一方、農閑期は同居家族の協力が得られやすい

対象エリアの拡大

- ・他農村部への周知・協力依頼
- ・町全体での認知度向上

2022年5月～7月に実証運行予定。